



平成19年度

まちづくり説明会 (第1回)

～ 今年度のまちづくりへのとりくみ ～

■■■ 内 容 ■■■

- 1 これまでの経緯と今年度の目標
- 2 今年度の活動内容
- 3 活動スケジュール案

平成19年10月18日

北 谷 町

1 これまでの経緯と今年度の目標

(1) SACO合意について

沖縄県は、我が国の国土面積のわずか0.6%に過ぎない狭い県土面積です。しかし、我が国の在日米軍専用施設の75%にも及ぶ広大な米軍施設が存在しています。また北谷町は、町土面積の53%が米軍施設で占められています。

これら米軍施設は、住民生活・振興開発・自然環境などに様々な影響を与えることから、日米両政府は沖縄に対する過度な負担を軽減するための協議機関として平成7年11月に「沖縄に関する特別行動委員会（通称、SACO）」を設置しました。この中で協議された結果、平成8年12月の最終報告において、普天間飛行場を含む11施設で面積5,002haの返還が合意されています。

(2) キャンプ桑江南側について

キャンプ桑江地区は、北谷町のほぼ中央部にあり、上記SACOの返還合意事業の一つです。この内、北側部分が平成15年3月に返還され、平成16年3月から桑江伊平土地区画整理事業が進められています。

キャンプ桑江南側地区（以下本地区）は、キャンプ桑江地区の内、返還された北側約38.4haの残り南側部分の約60haを指します。

本地区は、先行する桑江伊平土地区画整理事業の影響や、位置的ポテンシャルの高さから、的確なまちづくりの実施が強く求められる地区と言えます。

なお、北谷町は「キャンプ桑江南側地区 まちづくり基本構想」を平成16年度に策定しております。

(3) 今年度、本地区のまちづくりで取り組みたい事（目標）

まちづくりを進めていく上では、その準備をより早い段階で行うことが大変重要です。そこで今年度は、本地区の地権者の方々と一緒にまちづくり活動へ取り組んでいきたいと考えます。具体的には「まちづくり基本構想」などを中心とした説明会や勉強会を開催し、その中で意見交換を行っていききたいと思いません。

こういった活動を、本地区の返還に備えたまちづくりへつなげたいと考えます。

2 今年度の活動内容

(1) 今年度の主な活動内容

本地区を対象とした今年度のまちづくりについて、具体的に整理します。

- ①「まちづくり基本構想」や「まちづくりの経緯」などを題材とした説明会や勉強会を開催し、その中で意見交換を行う。
- ②まちづくりの活動報告やまちづくり情報について、地権者の方々へ情報発信する。
(ニュース)
- ③まちづくりについて、地権者の方々の意見や考えを伺う。
(意向調査)

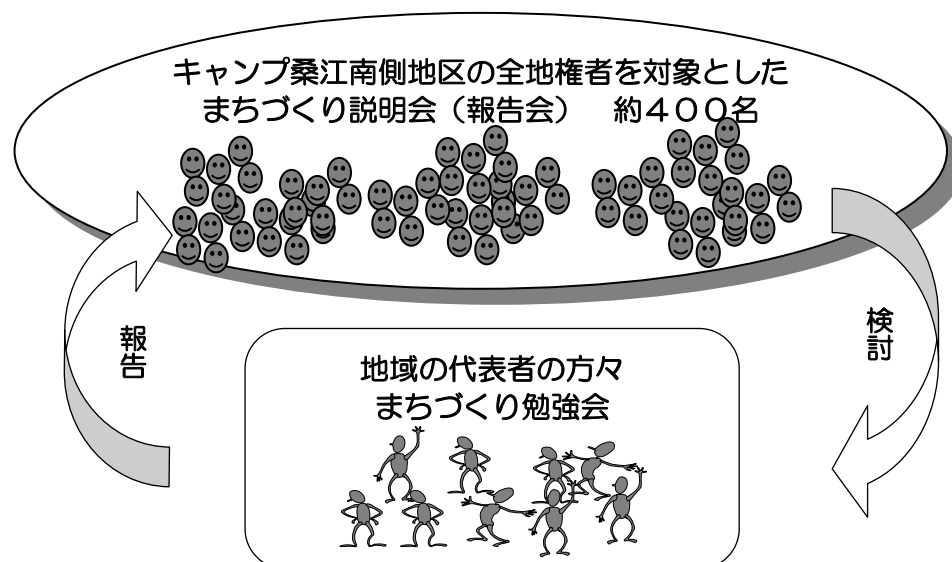
(2) 勉強会の進め方

本地区の地権者は総計で約400名です。一般に説明会は全地権者の方々をお招きして開催します。しかし勉強会は、400名もの方々を一同に会して開催しますと、勉強会の目的でもある積極的な意見交換がしづらくなります。また400名と大勢であるため、会場も限定され、柔軟に開催できない事も考えられます。

そこで勉強会に限っては、世話役となっていただける方々や、地域の代表の方々を対象として開催する事も考えられます。

勉強会の進め方については、本日の「まちづくり説明会(第1回)」の中で、ご意見を伺った上で、検討していきます。

なお北谷町は、説明会や勉強会を有意義に進めていくため、学識経験者を含めた会合を別途開催し、意見交換を行うなどの活動にも取り組みます。



まちづくり勉強会の構成案

まちづくり勉強会は、本地区内の各字毎(三つ)から推薦(5名程度)された組織(15~20名)で進めていくと、充実した内容で開催できると考えます。

3 活動スケジュール案

今年度の概略スケジュール

今年度の説明会や勉強会の概略スケジュールを整理します。

